

ライブラリー通信 モースの『臨海実験所』跡地を巡る謎

江の島弁天橋を渡りきってすぐ左手の緑地の奥、目の前の土産物店に気を取られているとそのまま通り過ぎてしまいそうな場所にエドワード・S・モース [1838～1925]の記念碑が建立されていて、碑面には日本近代動物学発祥の地と刻されています。モースといえば大森貝塚を発見したことでよく知られていますが、そのモースが江の島にわが国初と言われる『臨海実験所』を開設したという史実は意外と知られていないかもしれません。

モースが来日したのは1877年(明治10年)の6月で、目的は長年研究対象としていた海産動物の腕足類が、日本の沿岸で多産すると聞き、その採集のためでした。たまたま、当時開学したばかりの東京大学理学部の教授に招聘されて動物学を講じ、ダーウィンの進化論を最初に紹介したともいわれています。そのモースが江の島を訪れ、海産動物の採集のために島の東側にあった漁師小屋を借り上げて『臨海実験所』を開設したところから、日本近代動物学発祥の地とされているのです。

モースが『臨海実験所』を開設したとされる跡地には冒頭の記念碑とは別に記念のプレートが藤沢市によって設置されていますが、現在駐車場の奥にあってこちらにも注意深く見て歩かないと見落としてしまうかもしれません。現在プレートが設置されている場所は、郷土史家の服部清道氏が、『藤沢市史資料第24集』(1980)で主張したのを根拠にしているようです。しかし、実際は『臨海実験所』の跡地の位置については、これまでに諸説あって決して定まっていなかったのが現状です。残された記録に地番の記載がない事や、その後の関東大震災や埋め立て、道路の付け替えなどで周辺が当時と様変わりした事が跡地の特定を困難にしてきた大きな理由のようです。そこでモースが臨海実験所内から描いたスケッチ画や、当時の江の島の古写真や古地図をもとに位置を推定するのですが、研究者の見方によってすこしづつ場所が違ってしまったという訳です。

ところが一昨年、地元藤沢のモース研究会発行の『モース研究第12号』(2000)にモースの『臨海実験所』の跡地の位置が確認されたとする報告が掲載され、昨年には日本動物分類学雑誌『タクサ』第11号(2001)においても同内容が発表されました。

その報告によれば、これまでの諸説やモースのスケッチを再検討し、更にその後新たに得られた資料を加味して総合的に判断した結果、現在の「恵比寿屋旅館」の駐車場と前の通路部分に当たるのではないかとしています。この結論は、実は藤沢の郷土史家であった内田輝彦氏がかつて『藤沢の歴史』(1966)で推定した位置、「恵比寿屋旅館」の敷地付近とほぼ同じです。そしてその内田輝彦氏の説は、昭和29年の2月3日に藤沢市がモースの「Japan Day by Day」の翻訳者である石川欣一氏を招いて現地調査を行い、跡地は「恵比寿屋旅館」中庭の旧弁天祠付近であるとした結論に基づくものです。結果的には、最初にここだとされた場所がやはり実験所跡だったと再確認された形になった訳です。

今回の発表で、『臨海実験所』の跡地の位置に関する謎には一応の終止符が打たれたと見られているようです。残された謎は、かつて藤沢市が一旦結論を出した位置、それは内田輝彦氏の説であり、今回の調査の結果結論付けられた位置でもありますが、その位置ではなく、何故服部清道氏の説を採ったのかという事です。距離にして数十メートルしか離れてはいませんが、今後あの記念のプレートがどうなるのか、その動きに注目しているところです。

(司書 内田 潔)

企画展のお知らせ

平成14年度企画展

新収資料展

平成14年4月27日(土)～6月2日(日)

特別展示室/入場無料

昆虫やアラスカヒグマをはじめ、新しく寄贈・収集された貴重な標本をご紹介します。

●From EDITOR

本号で私の編集担当も終わりです。

3年間の担当ですから12号分の編集に携わったことになります。その間、「展示シリーズ」等をスタートさせるなどの企みは実現できました。でも、共通テーマを持たせての特集号といった編集は夢に終わりました。次号からは原稿を催促される側です。どうぞ、読者のみなさまのご感想などをお寄せください。(K. T)

催し物のご案内

●野外観察

「身近な自然発見講座」[博物館周辺]

日時/4月17日(水)10:00～15:00

対象/一般(人数制限なし)雨天中止
申込締切/事前申込不要;当日博物館集合

●野外観察

「磯の生きものウォッチング」[真鶴・三ツ石]

日時/4月27日(土) 10:00～15:00

対象/小学生とその保護者40人
申込締切/4月16日(火)

●野外観察

「地形地質観察会」[山北・大野山]

日時/5月3日(金) 10:00～15:00

対象/一般30人(健脚向)
申込締切/4月23日(火)

●室内実習

「動物の体のつくりを知ろう①」[博物館]

日時/5月4日(土)・5日(日)の2日間

10:00～15:00
対象/小・中・高校生10人
申込締切/4月23日(火)

●野外観察と室内実習

「化石ウォッチング」[大磯・西小磯]

日時/5月11日(土)・12日(日)の2日間

10:00～15:00
対象/小・中学生とその保護者30人
申込締切/4月30日(火)

●野外観察

「クサビカヤ(イネ科)を見よう」[海老名]

日時/5月12日(日) 10:00～15:00

対象/一般20人
申込締切/4月30日(火)

●野外観察

「身近な自然発見講座」[博物館周辺]

日時/5月15日(水)10:00～15:00

対象/一般(人数制限なし)雨天中止

●野外観察

「水辺の動物ウォッチング」[松田・酒匂川]

日時/5月18日(土) 10:00～15:00

対象/小学生とその保護者30人
申込締切/5月7日(火)

●野外観察

「鳥のさえずりを楽しもう」[箱根仙石原]

日時/5月25日(土)10:00～15:00

対象/一般30人
申込締切/5月14日(火)

参加について

上記の催し物について、事前申込が必要な場合があります。特に記載の無いものは参加無料です。応募多数の場合は抽選となります。参加方法や各行事についての詳細をお知りになりたい場合は、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ホームページでも詳細を見ることが出来ます。

申込・お問い合わせ先

〒250-0031 小田原市入生田499
神奈川県立生命の星・地球博物館企画情報部
電話 0465-21-1515
ホームページ
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/museum/g.html>